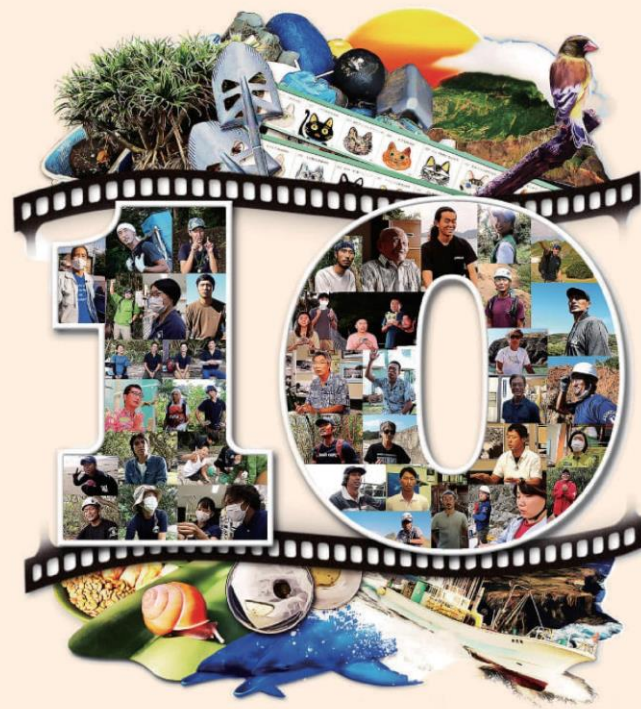


Bonin Discovery TV (YouTubeチャンネル) 配信中!
「しまじまつつうらうら」番組を追加



～自然と暮らしを紡ぐ人ヒトビト～

- 全 7 編
(各編約 30 分尺)
- ・ガラス張りの部屋のナゾ
 - ・UMIGOMI
 - ・オガヒワを知っていますか?
 - ・エコツアーのその先へ
 - ・おがニャンプロジェクト
 - ・秘境の島
 - ・現場は無人島 ～世界遺産の黒子たち～

- 全 2 編
(各編約 30 分尺)
- ・父島列島編
 - ・母島列島編

番組はこちらのURLからご確認ください。
<https://www.youtube.com/channel/UC0ccXaD05JaIXPr6AyRGOKQ>



小笠原村



小笠原 世界自然遺産だより

第7号
2025年4月

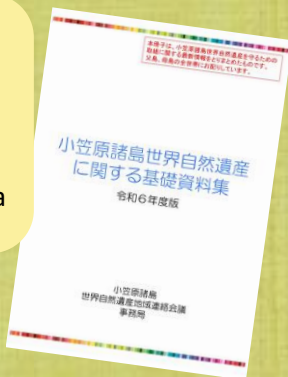


表紙写真：兄島でのヘリからの殺鼠剤の空中散布 環境省撮影(2024年)

PDFデータは
こちらから!



<http://ogasawara-info.jp/>



村内の各ご家庭に基礎資料集を配布します

小笠原世界自然遺産だより第7号では、
令和6年度に実施した世界自然遺産関連事業を紹介しました。

令和6年度の事業成果等は、
「小笠原諸島世界自然遺産に関する基礎資料集—令和6年度版—」
としてとりまとめ、今年4月に父島・母島の各ご家庭に配布予定です。

小笠原の自然を守るための取組についてもっと知りたい!
と思った方は、ぜひご覧ください。
※基礎資料集は、小笠原世界遺産センターHPからもダウンロード可能です。

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。



環境省小笠原自然保護官事務所(世界遺産センター)
Tel/Fax: 04998-2-7174/7175
(母島自然保護官事務所 3-2577)



東京都小笠原支庁土木課自然環境担当
Tel/Fax: 04998-2-2167/2302



林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター
Tel/Fax: 04998-2-3403/2650



小笠原村環境課
Tel/Fax: 04998-2-2270/2271

小笠原の自然を守るために

令和6年度実施の遺産事業報告

令和6年度に実施した世界自然遺産に関する事業のうち、注目の取組をご紹介します

指定ルートの評価と改廃

@父島、母島

指定ルート評価全て終わりました！

関係者による現地確認



森林生態系保護地域の指定ルートについては、設定から10年以上が経過したことから、全ての指定ルートの評価及び見直しを行いました。評価では、この10年で大きな怪我や事故の報告はなく、生態系面での質の低下もないという結論に至り、ガイドや地元関係者の皆さまの適切な利用、協力に感謝申し上げます。

指定ルートの見直しについては、地元関係者のご意見を踏まえ、小笠原諸島森林生態系保護地域部会において見直しを行い、夜明山西ルートと夜明山ルートをつなぐ夜明山接続ルートを追加、傘山ルートの入口を南側へ移動、時雨山ルート及び振分山ルートの一部を廃止、吹割山ルートの廃止を行いました。

林野庁

カワラヒワ保全のためのネズミ対策

@姪島、向島

母島属島のネズミ駆除を推進！

これまで、関係機関の連携によりオガサワラカワラヒワの保全のため母島属島のネズミ対策が進められており、令和6年度からは東京都が姪島と向島を担当しています。

姪島では新たな対策に着手し、9～11月にかけて全島で殺鼠剤の手撒き散布を実施しました。海況不良で上陸できず2回目の散布作業とベイトステーションへの殺鼠剤充填は中断しましたが、少なくとも島内くまなく1回の散布を実施しました。

向島では令和5年度まで環境省によるベイトステーションでの対策が行われていましたが十分な効果が見られておらず、今年度からベイトステーションの増設と殺鼠剤の手撒き散布により対策を強化しています。ベイトステーションへの殺鼠剤充填に加えて、12～3月にかけて全島で殺鼠剤の手撒き散布を2回実施しました。

姪島・向島の両島とも、手撒き散布による全島対策を実施した後は、令和7年2月中旬までセンサーカメラによる調査ではネズミは撮影されていません。今後も対策を継続し、ネズミの根絶によるカワラヒワの保全に努めていきます。

東京都

殺鼠剤の手撒き散布



マイマイ保全のためのネズミ対策

@兄島

殺鼠剤を用いたヘリでの全島対策を実施！

ヘリからの散布



カヤックでの殺鼠剤回収



兄島には約30種もの小笠原固有陸産貝類が生息しており、ネズミ食害による生息地や個体数の減少が懸念されています。

兄島における陸産貝類のネズミ食害の増加を受け、昨年11月にヘリコプターを用いて、全島的な殺鼠剤の空中散布を実施しました。また、空散の環境配慮として、兄島の小河川に落下した殺鼠剤、海上流出した殺鼠剤の回収を実施しました。

散布後はネズミの撮影頻度が低下し、大規模な食害の発生を未然に防ぐことができたと考えられます。今後も状況を注視しながら、ベイトステーション等を用いたネズミ対策を継続します。

引き続きのご協力をお願いいたします。

環境省

アノールの発見と対策

@南島

南島アノール大搜索！昆虫たちはひとまず大丈夫そうです



トラップ設置の様子

昨年4月13日、南島ではこれまで確認されていなかったグリーンアノールが観光客と観光ガイドによって撮影されました。

もしもアノールが定着してしまうと、南島の希少な昆虫類がピンチです。そこで現地管理機関や地元団体が協力し、目視やのべ2,490個の粘着トラップで島全体を大搜索。結果として捕獲や目撃はなく、ひとまず南島の昆虫たちに影響が出るような状況ではないとわかりました。

外来種を侵入させないこと、侵入したらすぐに対処することが重要です。島内各所に掲示しているポスターのとおり、他の島に行く際には持ち運ばないようにご注意ください。



南島外来種侵入防止啓発ポスター

環境省 林野庁 東京都 小笠原村

他にも小笠原の自然を守るための取組をたくさん実施しました！